



久しぶりのツアー旅
 車け足・台湾5日間②

妻は病氣の後遺症で
 つえを使い、ゆっくり
 としか歩けなくなった。
 以来、海外ツアーは控
 えていた。

しかし、妻には「旅
 に行こう」という意欲
 はある。新聞広告を見
 ては「ここなら行けな
 いかしら」とよく言う。
 友人でもある妻の正
 治医は「意欲を持つこ
 とは大切なこと。ぜひ
 その意欲を表現してあ
 げて下さい」と言われ
 る。とはいえ、2人と
 も後期高齢者。片手に
 妻の手を、もう一方で
 荷物を持つての旅は私
 の方が二の足を踏むの
 場合も、日本から



今回の旅のコース



台湾八景の一つ、日月潭の碑



日月潭前の文武廟

このは、台湾周遊5日
 間の旅の広告があった。
 確かに台湾なら福岡
 から飛行機で2時間半
 と近い。このぐらいの
 エコノミーで大丈夫と
 いう。何よりも私を驚
 かせたのは「4泊5日、
 食事8回付きで4万9
 900円」という料金
 の安さである。
 格安ツアーにはそれ
 ほどの理由がある。今
 の場合も、日本から
 の同行添乗員はなく、
 現地ガイドがすべて
 に対応する。最初のコ
 レは現地ガイドに不安
 があつたが、慣れると
 何ら問題はない。とに
 かく格安料金で国内旅
 行よりも安い。女いの
 はうれしいが、4泊5
 日というやや長旅に妻
 の体力が不安になる。
 東京にいる娘に相談
 すると、その期間なら
 ちよとど休暇が取れる
 ので同行してくれると
 いう。妻にとつても娘

と一緒の旅なら文句な
 し。やや衝動的に「台
 湾周遊ゴールデンルー
 ト・5日間の旅」に参
 加すること決めた。
 妻は早速「地球の歩
 き方」台湾編」を求め、
 行く観光地に付せんを
 つけるなど行く気満々
 である。主治医が言っ
 たように、意欲がいかに
 大切かを実感する。
 さて、台湾だが、韓
 国と同じように太平洋
 戦争で日本が負けるま
 での約50年間を統治し
 た国である。韓国には
 今も反日感情がある
 が、台湾は逆に親日的
 な感情があるように思
 える。特にもともと台
 湾に住んでいた人たち
 にその傾向が強い。
 日本兵としてニュー
 キニアなどで戦った「高
 砂義勇隊」に象徴され
 るように、原住民と言
 われる山岳地方の人々
 がそうだ。台湾発展の
 ために日本がそれなり
 にいろんなことをした
 結果かもしれない。
 8年、台中から南東に
 約40kmの地点にダム湖
 を建設した。それが現
 在、台湾八景の一つと
 いわれる「日月潭」に
 ちがつたん」である。
 総面積は約800km²、
 そのダム工事で水没し
 た「文武廟(ふんぶびよ
 う)」は1969年に現
 在の位置に移された。
 台北と南の高雄を結
 ぶ「台湾新幹線」は「台
 中」から台湾海峡側を
 走るの、日月潭には
 新幹線では行けない。
 今回、台湾新幹線に
 は乗れなかったが、台
 中からバスで日月潭や
 文武廟を見ることが出
 来た。日本が統治中に
 建設された台湾八景の
 景勝地を見ながら、台
 湾の親日的感情がわか
 るような気がした。